

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
専門分野Ⅱ	老年看護学援助論・演習	1	45	2年次	6月	竹内 佐代子 工藤 なぎさ 川竹 美恵 上田 緋沙美
授業概要 老年期にある対象の健康障害による諸問題について理解し、障害を持つ対象と家族に対する看護を学ぶ						
到達目標 1.健康障害を持った高齢者及びその家族に応じた看護を学ぶ。 2.高齢者に特徴的な事例を用いて看護過程展開を行い、問題解決能力を養う。						
使用教材 テキスト 系統看護学講座 「老年看護学」 (医学書院) 系統看護学講座 「老年看護 病態・疾病論」 (医学書院) 系統看護学講座 成人看護学 [10]運動器、[12]皮膚、[13]眼、 [14]耳鼻咽喉、[7]脳・神経 参考文献等						
評価 筆記試験：「運動機能障害のある患者の看護」「感覚機能障害のある患者の看護」 「脳血管疾患のある患者の看護」の内容についての 講義・演習の参加態度、レポート提出状況：看護過程の展開 筆記試験、レポート評価を踏まえて総合的に評価する。						
授業計画						
時間	授業内容					方法
10時間・5回	1.運動機能障害のある患者の看護 1)運動機能の観察とアセスメント (1)運動機能の検査と観察 (2)日常生活動作の観察 (3)心身・日常生活への影響 2)治療・処置時の看護 (1)ギプス固定を受ける患者の看護 (2)牽引療法を受ける患者の看護 (鋼線牽引・スピードトラック牽引) 3)疾患を持つ患者の看護 (1)大腿骨頸部骨折患者の看護 (2)変形性膝関節症患者の看護 (3)関節リウマチ患者の看護 (4)変形性股関節症の患者の看護 (5)椎間板ヘルニア患者の看護 (6)脊椎損傷患者の看護 4)関節可動域訓練時の援助 5)筋力増強訓練時の援助 6)脊髄造影検査(ミエログラフィ)時の援助					講義 演習
10時間・5回	2.感覚機能障害のある患者の看護 1)感覚機能の観察とアセスメント (1)感覚機能の検査と観察 (2)感覚機能障害に伴う症状の観察 (3)感覚機能障害の程度と原因 (4)心身・日常生活への影響・感覚障害への生活指導 2)眼疾患を持つ患者の看護 (1)白内障患者の看護(点眼等薬事の援助を含む) (2)緑内障患者の看護					講義

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
専門分野Ⅱ	老年看護学援助論・演習	1	45	2年次	6月	竹内 佐代子 工藤 なぎさ 川竹 美恵 上田 緋沙美
時間	授業内容					方法
	(3)網膜剥離患者の看護 (4)感染性疾患患者の看護 3)皮膚疾患を持つ患者の看護 (1)带状疱疹患者の看護 (2)褥瘡を持つ患者の看護 (3)熱傷患者の看護 4)耳鼻咽喉疾患を持つ患者の看護 (1)耳疾患患者の看護 ①メニエール病患者の看護 ②慢性中耳炎患者の看護 ③聴神経腫瘍患者の看護 (2)鼻疾患患者の看護 ①慢性副鼻腔炎患者 (3)咽頭・喉頭疾患患者の看護 ①咽頭癌患者の看護 ②反回神経麻痺の手術を受ける患者の看護 ③喉頭癌患者の看護					
10時間・5回	3.脳血管疾患のある患者の看護 1)主な検査と治療に伴う看護 (1)髄液検査時の看護 2)脳血管疾患を持つ患者の看護 (1)脳梗塞患者の看護 (2)脳出血患者の看護 (3)くも膜下出血患者の看護 (4)脳腫瘍患者の看護 (5)パーキンソン病患者の看護 (6)筋萎縮性側索硬化症 3)患者の障害受容への看護 (1)障害受容のプロセス (2)障害受容の特徴の理解 (3)看護の実際					講義
14時間・7回	4.脳梗塞のある高齢者の看護過程の展開 1)基盤となる考え方としての「生活行動モデル」 2)目標思考型思考の「看護の焦点」 3)優先順位の考え方 〔校内演習〕 片麻痺のある対象の車いすへの移乗 高次脳機能障害のある対象への食事介助					講義 演習
1時間・1回	筆記試験（45分間）					
備考						